

会山行報告書

通算山行NO	No. 329C	報告者	後藤隆徳
年 月 日	2006年09月24日(日・時々雨)		
山 名	伊豆仁科川・三階滝沢右俣		
2万5千図	仁科・土肥		
温 泉	大川温泉「山の家」500円		
体力度=4・ややきつい 技術度=4・やや難しい 読図=やや難しい 藪漕=ない 道標=全く 無い 頂上の展望= トイレ= 携帯=部分 OK			
<h1>西伊豆の凄い沢</h1>			
コースと タイム	長泉町6:00—仁科峠—林道—標高700m—中沢歩道—三階滝沢出合—三階滝— 林道12:00—さわらび荘—長泉町		
標 高 差	上り 三階滝沢出合約400m～林道約700m＝約300m 下り 同上		
参 加 者	CL・後藤隆徳(59)、近森正彦(61)		

今回の伊豆の沢研究は、かねてから思い描いていた、猫越岳西面にした。ここには仁科川が流れる標高約400mから700mの間に物凄い断崖を形成し、各所に大きな滝を懸けている。

上流に「大沢里(おおそうり)」という集落があるが、この名称もこの辺りから来たものと思われる。仁科まで結構遠いので土肥峠からスカイラインを通り、仁科峠から下る。

車道を標高700mまで下ると、今回目的の仁科川支流の「三階滝沢」の上流に出る。ここには橋があるからすぐ分かる。

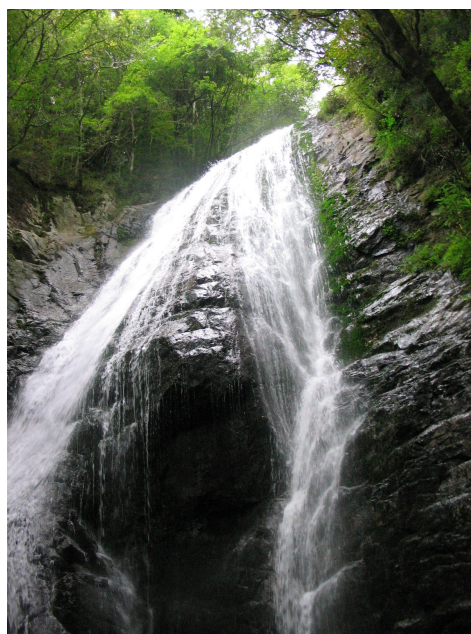
下から仁科川を詰めると時間が掛かるうえ、猫越岳からの下山も大変だから、途中のこの車道に車を置いたほうが合理的だ。

ただし、仁科川まで降りる道はないので工夫が必要になる。そこから少し車道に戻り、檜を植林した尾根を下る。この入り口には「中沢歩道」の小さな看板がある。まあ「歩道」と言ってもハイカーでは無理な道だ。

途中までまあまあだったが、最後は崩れていたり苦勞する。出合には「三方滝」と呼ばれている40m位の滝が懸かる。(写真)

ここから遡行開始する。ここから連続する滝は凄く見事だった。丁度、愛鷹山の「野猿沢」を彷彿させ、大きなツルツルの滝でとても上ることが出来ない。上れない滝は昔の壊れた遊歩道を使って上った。

雨が降ってきたので、猫越岳は諦め、「さわらび」荘に向かった。



三階滝沢・三方滝

